

総合的な学習の時間

第1学年

神石高原町立三和中学校

指導者 河本壮一郎
藤田 良平
正田 義明

単元名

地域の魅力再発見プロジェクトⅡ 【町の魅力を伝えよう】

本単元で育成する資質・能力

「課題発見力」「課題解決力」

1 日時 令和4年11月30日(水)

2 学年・組 第1学年A・B・C組(男子22名, 女子14名, 計36名)

3 単元観

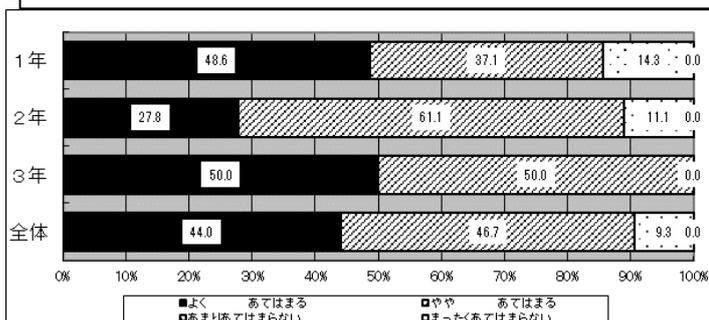
本単元は、今年度上半期に学習した地域の魅力再発見プロジェクトⅠ【地域の魅力を再発見する】からつながる単元である。上半期は、「自分たちが総合的な学習の時間に取り組みたいこと」を自由に出させ、それを6つのジャンルに大きく分けた。キャラクター・特産物・歴史・職業・施設・PRの6つのジャンルでそれぞれ1年間のゴールを定め活動を行った。主に知りたいこと等を調べていき、文化祭の機会を使ってそれぞれの進捗状況を中間発表した。そして下半期では、上半期の活動で改めて知った神石高原町の特色・魅力を、神石高原町がより発展していくために、他所へより良く発信していくことを目標としている。また、自分たちの故郷がこれからも住み続けられる町であるために、自分たちにできることを実践していくことで、故郷に貢献していることを実感し、今後の地域発展のための学習に主体的に取り組むことができるようになることをねらいとする。今年度上半期に学習した地域の魅力発見では気付くことのできなかつた地域の現状を知り、考える視点の習得及び活用ができる単元である。

4 生徒観

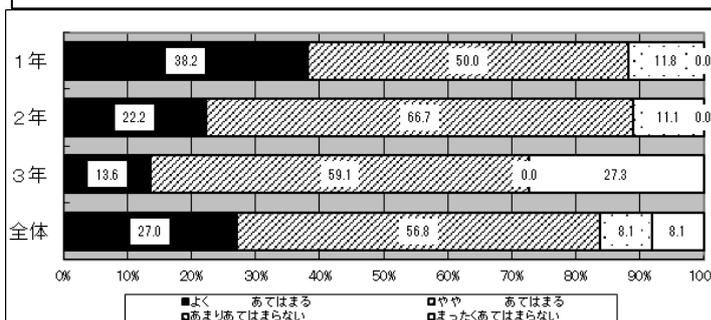
今年度上半期にPRチームが行ったアンケートによると、本学年生徒は「神石高原町に良いところはあるか」という質問に対し、36人中36人が良いところがあると回答していた。良いところとしてあげられたのは、「自然が豊か」「地域の人が親切」というものがほとんどであった。一方で、悪いところは「買い物する店が少ない」「高齢化が進んでいる」「交通が不便」等が挙げられた。これらの理由から察すると、街中と比べて多少なりとも引け目を感じていることが分かる。

また、7月に行った総合的な学習の時間に関するアンケートでは、以下のような回答になっている。

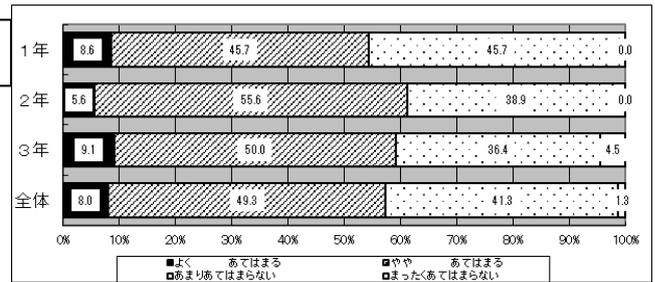
友達や、地域の人のもっている悩みを解決したり、願いを叶えてあげたりしたいと思います。



解決しようとする課題について何をすればよいのか、何が使えそうかを考えることができます。



課題を解決するために、進んで資料を集めたり取材をしたりしています。



アンケート結果から、「友達や地域の人がもっている悩みを解決したり、願いを叶えてあげたりしたいと思います。」に対して肯定的な回答が 85%、「解決しようとする課題について何をすればよいのか、何が使えるかを考えることができます。」に対して肯定的な回答が 88%あるにも関わらず、「課題を解決するために、進んで資料を集めたり取材をしたりしています。」には肯定的な回答が 54%と低く、知っている情報・与えられた情報のみで行動していると考えられ、自ら情報を収集し精査するといったところに課題があるのではないと思われる。

5 指導観

(1) 生徒が課題発見する場面の設定

- ・今まで学習してきたことを基に、町のためにできることはないか課題意識をもたせる。
- ・町の活性化のために自分にもできそうなことから考えさせ、単元末には「自分も社会の役に立っている」という実感がもてるような単元計画を生徒とともに立てていく。

(2) 生徒に課題解決までの道筋を立てさせる

- ・課題解決のためにどのような情報を集めたらよいかを考えさせ、解決に向けた見通しをもたせる。
- ・課題解決のための方法について、「現実的に考えて無理そうだ」という固定観念を外し、多様な意見を出し合い、計画を立てていくことを促す。
- ・調べ学習の意義を理解させるとともに、地域おこし協力隊の方や関係諸機関への聞き取り等を情報収集の場として設定し、積極的にコミュニケーションを取らせることにより、情報収集を促す。
- ・調査し考えまとめたことを、相互に発表、議論させ、比較等を行わせながら自分自身の考えを深めさせる。

(3) 振り返りの場面の設定

- ・「課題設定、情報収集、整理・分析、まとめ・創造・表現」の4つのステップを意識させ、これらのサイクルを機能させながら、各々の段階で、自分の姿がどのようであったかを基にして自己評価させる。
- ・振り返りの視点と振り返り例を明示することにより、全ての生徒に振り返り活動に取り組ませる。
- ・単元末には本質的な問いに立ち返り、更に疑問に思ったことやもっとやってみようことを出させ、次年度の学習につなげていくようにする。

6 単元で育てたい資質・能力及び本単元の目標と評価規準

○ 本単元で身につけさせたい資質・能力と評価規準 ★

資質・能力	主体性 (自ら課題を見いだす力)	協働的課題解決力 (協力しながら課題を解決する力)	振り返り力 (メタ認知力)
I (基礎的知識)	【課題発見と解決方策】 ○課題を見つけ、それを解決するための疑問点について他者に聴いている。	【思考力・判断力・表現力等】 ○課題を解決するために必要な情報を選択し、収集することができる。	【知識・技能の理解】 ○新しく学習した内容が理解できていると実感している。
C (つながり)	【考える・議論する】 ○自分と異なる意見と向き合い、議論している。	【多面的・多角的】 ○情報をもとに、聴き合い協働しながら多面的・多角的に考え、表現することができる。	【他とのつながりを理解】 ○新しく学んだ内容を既習事項や他教科、他領域、日常生活とつなげることができる実感している。
E (応用)	【学びに向かう力】 ○学んだことを生活に生かすために新たな活動を創り出そうとしている。	【未知の状況への対応】 ○身に付けた思考力・判断力・表現力等を働かせて未知の状況にも対応することができる。	【学びを生かそうとする力】 ○新しく学んだ内容を応用して日常生活・社会生活・自己の変容等につなげることができる実感している。

<評価規準> ◎

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①地域の人等と思いを共有し、協働することで持続可能な活動となることや、地域には多様な問題が存在していること、問題解決に向けて取り組む人々や組織があることを理解している。 ②神石高原町の魅力を町外に広く知ってもらうために必要な方法を、対象に応じた適切さで選択している。 ③神石高原町の発展に関する問題状況と自分たちの生活との関わりについての理解は、探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。	①②地域の現状と自分が考える理想との差から課題を設定し、解決に向けて自分にできることを具体的に考え、情報を収集している。 ③④伝える相手や目的に応じて情報を精査し、自分の考えをまとめ、適切な方法で表現している。	①②活動を通して得た知識や自分と違う友達の考えを生かしながら、協働して課題解決に取り組もうとしている。 ③地域との関わりの中で自己の生き方を考え、自分にできることを見付けようとしている。

7 単元計画 (17 時間)

次	学習活動	生徒の思考の流れ	評価
			◇評価規準★資質・能力(評価方法)
1 3	課題の設定 ・上半期の「総合的な学習の時間」の内容を振り返り、上半期に立てたゴールに向けてどんな取組が必要か考える。 ・発見した課題に対して自分たちで解決のための計画を立てる。 ・具体的なゴールイメージを出し合い、決定する。	・上半期では「神石高原町の魅力を再発見する」というテーマで学習して、色々な分野で知識が増えたな。 ・中間地点に来て、上半期に立てたゴールにそのまま行けそうかな。 ・それぞれのゴールに向けてどのようなことをしていくとよいかな。	◇★地域の現状と自分が考える理想との差から課題を設定し、解決に向けて自分にできることを具体的に考えている。(行動観察・ワークシート)【主体性】
4 本時	課題の設定 情報収集 ・課題解決のための計画を自分たちで立て、単元計画を作成する。 ・どのような方法で情報収集をするのか議論し、関係諸機関と連携を取る。	・町外の方に知ってもらうにはどのような方法だったら一番効果があるだろう。 ・インターネットでは発信されていないことも多いから直接聞く方がいいよね。	◇★地域の現状と自分が考える理想との差から課題を設定し、解決に向けて自分にできることを具体的に考えている。 (行動観察・ワークシート)【主体性】 ★課題を解決するために必要な情報を選択し、収集している。(ワークシート)【協働的課題解決力】



- ・誰に聞けば詳しい情報が得られるかな。
- ・話を聞くためにはアポイントを取らないといけないね。

情報の収集

- ・インターネット等を用いる等して、活動に必要な情報を集めていく。
- ・他地域との違いを明確にするため、地域の詳しい方に取材をしたり、写真を撮ったりする。
- ・動画製作に携わる方に、「みんなに見てもらえる動画」を作る上で大切なこと等をインタビューする。(PR)

- ・神石高原町と他の地域とはどんな違いがあるのかな。
- ・神石高原町をより良く伝えるにはどうすれば良いだろう。
- ・視覚的に訴えるためにはやはり写真や動画等があった方がいいな。
- ・動画を作る上で大切なことは何だろう？
- ・どんな動画が多く見てもらえるのかな。



- ・ただ紹介するだけでは見てもらえないから、見る人の興味を惹くようなコーナーを作れば良いと思うよ。

◇★地域には多様な問題が存在していることや問題解決に向けて取り組む人々や組織があることを理解している。(行動観察・ワークシート)【振り返り力】

◇★活動を通して得た知識や自分と違う友達の考えを生かしながら、協働して課題解決に取り組もうとしている。(行動観察・ワークシート)【主体性】【協働的課題解決力】

12
|
15

整理・分析

・集めた情報を精査し、それぞれの活動内で使う情報と使わない情報を分ける。
・なぜその情報を使うのか明確にさせるため、自分たちのゴールと照らし合わせる。
・地域の方等第三者に完成イメージを共有し、アドバイス等をもたらう。
・調べた内容をまとめたり、資料を作成したりする。

→ キャラクター作成
特産物紹介
歴史の本作成
職場へのインタビュー集
施設案内
PR 動画作成
等に分かれて作業をする。

・この情報は発信しなくてもよいかもしれないけど、自分たちは知っておいて今後考えていくことが必要だな。
・この情報は流れとは合わないから含めなくてもいいかな。
・様々な人に見てもらってアドバイスをもらった方がいいんじゃないかな。
・郊外に出るのは学校行事や時間割から考えてこの日がいいんじゃないかな。



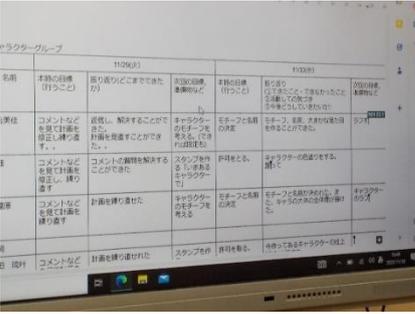
・伝え漏れがあったり、言葉遣いが適切でない部分はないかな。
・魅力を伝えるにはあれがいるな。
・作るのに必要な材料は・・・
・これまでの学習を振り返ると、工夫すべき点分かるな。

◇★活動を通して得た知識や自分と違う友達の考えを生かしながら、協働して課題解決に取り組もうとしている。(行動観察)【主体性】【協働的課題解決力】

◇地域の人等と思いを共有し、協働することで、持続可能な活動となることを理解している。(行動観察・ワークシート)

★学んだ内容を日常生活とつなげることができると実感している。【振り返り力】(ワークシート)

◇伝える相手や目的に応じて、自分の考えをまとめ、適切な方法で表現している。(行動観察・成果物)

<p>16</p> <p>・</p> <p>17</p>	<p>まとめ・創造・表現</p> <p>振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成したものを対象になる人に発信したり、紹介したりする。 ・これまでの取組を振り返って、自分が身に付けた力や、できるようになったことを理解する。 ・本質的な問いに立ち返り、次年度に向けて新たな疑問や課題を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この単元を通して自分にはどのような力が身に付いただろう。 ・見通しをもったり、自分から考えて動くことができたな。 ・自分でも町のためになることができ達成感があるな。 ・これからも町の課題を発見して、自分にできることを実践していきたいな。 	<p>◇★伝える相手や目的に応じて、自分の考えをまとめ、適切な方法で表現している。(行動観察・成果物)【協働的課題解決力】</p> <p>◇★地域との関わりの中で自己の生き方を考え、自分にできることを見付けようとしている。(ワークシート)【主体性】</p> <p>★学んだ内容を活用して日常生活や自己の変容等につなげることができる実感している。</p> <p>【振り返り力】</p>
------------------------------	---	---	---

8 単元におけるルーブリック

A	B	C
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の現状と自分が考える理想との差から課題を設定し、解決に向けて自分にできることを具体的に考え計画を立てることができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題に対して自分なりに解決案を出し、学習の流れを計画することができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に対する課題を自分事として捉えることが難しく、計画を立てるに至っていない。

9 本時の展開

(1) 本時の目標

各グループがゴールに向けての活動計画を立て、どのような方法で情報収集等を行うか議論し、取り組むことができる。

(2) 準備物

ワークシート、タブレット、ホワイトボード、マーカー

(3) 本時の展開

学習活動	<p>◇指導上の留意事項</p> <p>◆配慮の必要な生徒への支援</p>	◎評価規準	★資質・能力 (評価方法)
------	---------------------------------------	-------	------------------

<p>○前回までの活動を振り返り、本時の目標を設定する。</p>	<p>◇総合的な学習の時間の残り授業時数を示し、各グループがゴールまでを逆算し、活動内容や方法を検討した上で、本時の目標を設定できるようにする。</p>		
<p>本時の目標：各グループがゴールに向けての活動計画を立て、どのような方法で情報収集等を行うか議論し、取り組むことができる。</p>			
<p>1. 本時の目標設定・確認 10分 2. グループ内議論・活動 35分 3. 振り返り 5分</p>	<p>◇ジャムボードに各グループの本時の目標や、個人で取り組むこと等を書きこませ、周りが何をしているのかを知り、重複を避けたり、グループを越えて質問したりできるようにする。</p>		<p>★課題を見つけ、それを解決するための疑問点について他者に聴いている。(行動観察・ワークシート)【主体性】</p>
<p>○各グループの目標に向けて活動を行う。 ○課題解決をしていくための計画をグループで立てる。</p>	<p>◇本時の目標を達成できるように、グループ内で個々のすることを明確にして活動させるようにする。 ◆「どうしたらいいと思う？」等と声をかけ考えさせた後にインターネットで活動方法を調べさせたり、教員がアドバイスしたりする。</p>	<p>◎地域の現状と自分が考える理想との差から課題を設定し、解決に向けて自分にできることを具体的に考え、情報を収集している。(行動観察・ワークシート)</p>	<p>★課題を解決するために必要な情報を選択し、収集している。(ワークシート)【協同的課題解決力】</p>
<p>○本時を振り返り、どこまで達成できたか共有し、次回どのような活動を行うか確認する。</p>	<p>◇本時の振り返りをワークシートに記入する。 ◇情報収集をしてわかったことや、本時でどこまでできたかを共有させ、今後どう活動していくか考えさせるようにする。</p>		